



9月定例議会 一般質問

質問



多頭飼育や迷い猫、捨て猫、飼育放棄猫などの保護活動をボランティアに頼っている現状だが、津山市で猫の不妊去勢手術の助成はできないのか。

答弁

「県へ意見を伝える」

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用に対する津山市独自の補助制度は現時点で考えていないが、動物愛護団体において献身的な活動をされていることは認識している。いただいたご意見も含めて県へ伝え、連携して取り組んでいく。また地域猫活動についての相談に対応するほか飼育の仕方の効果的な啓発を検討していく。

質問



グリーンヒルズ津山にドッグランを設置の要望があるが、設置の検討はなされているか。

答弁

「関係部局と連携し研究」

グリーンヒルズ津山の魅力向上の観点から検討が必要な活用策の一つと考えているが、「鳴き声」や「におい」などの周辺環境への影響を考慮する必要がある。

施設の管理・運営面でも民間事業者や関係団体の専門的な知識やノウハウが必須。引き続き関係部局と連携し研究をしていく。

質問



ごんごバス循環路線地域以外の地域について、ドアツードア型の移動サービスを検討とあるが、詳しく説明を。

答弁

「ドアツードア型の移動サービス」

加茂・阿波・勝北・久米地域については、市営バス及び地域巡回バスの運行形態を見直し、自宅周辺から地域内の目的地まで移動できるシステム構築のための予算を提案している。また、旧津山北西・旧津山東・旧津山南地域でバスの運行が困難な地域では、予約に応じたドアツードア型の移動サービスの検討を地域公共交通計画に記載している。令和9年度までに実施可能な地域から随時検討していく。

質問



津山市の介護認定事務などでD X化の取り組みとスケジュールは。

答弁

「介護認定事務にタブレット」

市では、要介護認定審査業務の分析を行い、効率化・省力化をはかるため、タブレットを活用したシステム化に向け、準備を進めている。タブレット導入により、審査会資料のペーパーレス化に伴うコスト削減、業務効率化、柔軟で確実な審査体制の構築が出来る。現在、機器及びシステムの調整をしており、12月の介護認定審査会から仮運用を始めたい。